

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会 長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野巨寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

平成26年度安全登山講習会

新潟県山岳協会遭難対策委員会 新保雅稔

標記講習会を6月21日（土）～22日（日）に実施しました。受講生、スタッフ含め2日間で延べ37名の皆さんに参加いただきました。地形図の利用についてがメインでしたが、セルフレスキューや救急法まで幅広い話題を講習に盛り込み有意義な2日間でした。参加者2名の方々より記録と感想をいただきましたので下に掲載させていただきます。（遭難対策委員会）

<安全登山講習会の感想と記録>

新潟山岳会 切通美波

今回の講習を受講し、地図読みの基礎が分かった。また、各自が地形図で工夫していることを知ることができ、どのように地形図を使えばよいのか分かった。地形図の座学は2日目に登る袴腰山の地形図をもとに行われたので、地形図の等高線が実際の地形では、どのように見えるのか確認でき、さらに理解が深まった。登山中は地形図をこまめに確認し、自分の位置をロストしないことが遭難回避につながる事が分かった。

講習では、普段はなかなかお話を聞く機会のない消防や警察の方からお話を聞くことができ、疑問点を解決することができた。以下概略（講師敬称略）

●6月21日（土）粟ヶ岳県民休養地ビジターセンター

【1】遭難回避の為のセルフレスキュー

遭難事故の要因と回避について

講師：井 春文（遭対委）

(1) 要 因

- ① 体力、技術、知識（認識）不足
- ② リスク管理、危険予知能力不足（リーダーの力量不足）
- ③ 体力、技術の過信（特に中高年）
- ④ 気象の変化

(2) 事故原因 道迷い、転・滑落、疲労、病気、動物・昆虫・植物、高度障害、天候の変化に対する判断ミス（降雨降雪、落雷、増水、気温低下）

(3) 安全登山をする為のセルフレスキュー（事前防止対策）

- ① 体力の維持（筋力、睡眠不足による体力低下等）
- ② 登山技術の向上（読図力、歩行技術、気象条件からの判断力等）
- ③ 登山計画書の作成、提出（綿密な登山計画、緊急時の対応計画等）
- ④ メンバー（特に初心者）に精神的安心感を持たせる
（悪場通過時の確保、適切な指示、アクシデント時の対応等）
- ⑤ メディカルチェック（入山前、行動中）

登山計画書を出しましょう

- ⑥ 山岳保険に加入する
- ⑦ 非常用装備を持つ
- (4) 事故時のセルフレスキュー（事後処理対策）
 - ① 冷静な状況判断：セルフレスキューか救助要請か
 - ② セルフレスキュー：二次遭難の防止（事故者・パーティーの安全確保）、応急措置等
 - ③ 救助要請方法：アマチュア無線、携帯電話、トランシーバー、連絡書
携帯電話から110・119番に通報した際はGPS機能によって位置情報が
できるが、スマホはGPS機能をオフにしていたらでない
 - ④ 要請先：警察、消防、山小屋
 - ⑤ 伝達内容：5W1H（いつ、どこで、だれが、なぜ、なにを、どれだけ）⇒パーティーで遭難事故報告書を持つ
 - ⑥ 救助を待つ：目印、体力確保、保温

【2】「地形図の活用と読図の実践」（その1）

講師：新保 雅稔（遭対委）

- (1) 地形図（国土地理院）、エアリアマップ（昭文社）等の違いについて。
- (2) 地形図の等高線から尾根や谷を確認。
- (3) 模型にて等高線が立体ではどのようにみえるのか確認。
- (4) 概念図の作成：登山コースや周辺の地形（山頂・尾根・谷等）を把握する。
- (5) 山頂から一定の間隔で等高線を色分けし、立体的に捉える。
- (6) 地図の工夫：磁北線の記入、地図の携帯や防水について。

【3】「遭難救助事例と現場での応急処置」

講師：川寄健治 中川順一郎（阿賀野市消防本部）

- (1) 熱中症の対応
衣服を脱がせ体を冷やす。あまり汗をかいていなければぬるま湯をかけてうちわで扇ぐ。保冷剤があれば首・脇の下・内もも等を冷やす。立ちくらみ時は足元を10～15cm高くして横になる。
※のどの渇きを覚えた時点で軽度の脱水症状である。
- (2) 骨折時の対応
患部の変形や出血を確認。動かすと痛いようであればそのままの状態に固定。レジャーシート、新聞紙、座布団、地図等を添え木代わりにして、三角巾で固定。
- (3) 出血について
体重60kgの成人男性であれば血液の量は約5L。このうち、20%が失われると出血性ショック。30%が失われると生命の危険。出血量目安⇒30cm×30cmのハンカチで約200ml。
ハンカチ5枚分で20%。直接圧迫止血法：衛生的にビニール袋に手を入れ、清潔な布で患部をギュッと押さえる。横になっていれば上から体重をかけて圧迫する。
- (4) 心筋梗塞・脳卒中への対応
胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの操作方法。胸骨圧迫は講習生も実施。



応急処置の講習

【4】「地形図の活用と読図の実践」（その2）

講師：新保 雅稔（遭対委）

- (1) 様々なコンパスと登山に適したコンパス
- (2) 各部の名称：プレート型コンパス⇒磁針、ノースマーク、リング、進行線
- (3) 持ち方：進行線を自分の正面に向け、進行方向確認はコンパスはそのままですて体を回す。

- (4) コンパスの利用方法：プレート型コンパスは方角の記憶ができる。
- (5) 翌日講習の準備：次の目的地の角度、分岐の角度をあらかじめ地図に記入しておく。

袴腰山の地形図にて、各ポイントの角度を確認。ベアリング表の作成。



地形図の講習

【5】「新潟県における山岳遭難の実態」

講師：玉木大二郎（県警山岳遭難技能指導官）

- (1) 平成25年中の山岳遭難発生状況
- (2) 年代別・原因別・パーティー構成別の発生状況
- (3) 過去10年間の県内での山岳遭難発生状況

●6月22日（日）三条市「袴腰山」（八木鼻神社～袴腰山～高城～長禅寺周回コース）

2日目は上記会場で実技を行いました。ルート上の特徴ある地点に20ヶ所のポイントを設け、次の地点への方角、特定の目標地点の方角確認、等高線の形状と実際の地形の比較、現在地の確認など、前日の講習会で学習した地形図とコンパスの使用法を駆使して行動していただきました。雨模様でしたが、地図の防水方法の確認や、ガスの中での現在地点確認などを実践することができました。コースタイムおよび実技講習内容についての詳細を切通美波（新潟山岳会）さんがまとめてくださいましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。（遭難対策委員会）

<受講して良かったです！！>

新潟楽山会 田中 美恵子

あいにくと雨の中の講習となりましたが、受講者8に講師陣は8名とマンツーマンの大変贅沢な研修会になりました。今回受講して一番の収穫は、等高線の間隔と実際の傾斜の関係を体で感じとれたことでした。それは八木神社から次のポイントのコルまで登った時のこと、講師の方が「今の登りは高低差140m、時間で20分、地図上の情報を体で覚えてください。相当急な登りで、登山道がない場合、この傾斜を下るにはかなり注意を必要とするところです。」と説明してくださいました。

このように地図の情報を、山中で一つ一つ確認しながらの講習は分かりやすく、たくさんのポイントを学ぶことができました。この研修は出来れば毎年受けたいなあ～と思っています。講師の皆様方の優しく丁寧なご指導ありがとうございました。



地形図の読図力をたかめる



魚沼の里
www.uonuma-no-sato.co.jp



八海山
魚沼の酒
www.hakkaisan.co.jp

ALways Security OK



新潟総合警備保障(株)

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20
TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445

平成26年 第1回理事会議事概要

1. 日 時 平成26年9月6日(土)午後1時～同
3時30分まで
2. 場 所 長岡中央公民館(さいわいプラザ)
301号室(旧長岡市役所)
3. 出席者 23名(役員26名のところ、15名出席、代理人1名、議長に一任の委任状
10名で、理事会成立)

4. 会長挨拶

5. 議 題

- (1) 平成27～28年度の役員人事について
- ・会長意思表明
もう1期会長をやる。この期間中に次期会長以下の役員候補者を選定して次に引き継ぎたい。(理事会承認)
 - ・理事長及び事務局長の意向
理事長(事務局長代弁)及び事務局長は今期限内で退任したい。事務局長については、若い人にやってもらいたい。
 - ・会報委員長の意向
交代してほしいが、引き継ぐ適任者が見つからない。
- (2) 日山協「日本トレイルランニング会議」結成集会報告
- ・伊藤自然保護委員長報告(配布資料のとおり。)要旨
トレイルランニング関係者は、規制されるのを警戒している発言がほとんどであり、日山協としては、協会にトレイルランニング関係者を取り込んだ上、登山と同じように事故防止及び自然破壊が起こらないように規制をしたい意向であり、現在のところ、それぞれの考え方が相反している状況であった。出席者は、トレイルランの選手又は代表者が全体の約三分の一、その他は協会関係者、環境省2人及び地方の山岳関係者数人であった。次回の会議は、9月中に開催するということがあったが、現在のところ開催案内はきていない。
 - ・トレイルランニング会議の当協会の担当者は、会長が検討する。(理事会承認)
- (3) 北信越5県連絡会議について(理事会承認)
- ア 開催日 平成26年11月29日(土)～30日(日)
 - イ 場所 妙高市池の平 ロッジ今井
 - ウ 議題 ①国体運営
その他の議題については、事務局が各委員長から、聴取して、会長が検討する。

エ その他 新潟県が担当なので各委員長は、出席してほしい。

オ 予算関係(理事会承認)

○参加者への旅費について実費を支給する。

○宿泊者については、宿泊費の半額を補助する。

○他県参加者への土産はなし。

- (4) 青海省訪日団との交流(理事会承認)

来潟日 平成26年10月16日(木)

歓迎レセプション

・担 当 海外登山委員会

・会 場 ホテルオークラ新潟

・開催時刻 18時30分から

・県山協参加者の確保

県山協役員や12年の中国遠征隊員を中心に参加をしていただきたい。

6. 報告事項

- (1) 各委員会報告

ア 総務委員会

○弥彦のたいまつ祭り、高頭祭りが7月25日に開催された。

○8月17日委員会を開催

○11月8日(土)～9日(日)親睦登山、三条市のよってけ亭

○全日本登山体育大会には参加者なし。

○新年会は、開催場所は長岡市内で、27年1月24日(土)に行く。

○賛助会員は現在11名である。

会員になることをお願いしたい。振込書を送付して願う。

イ 指導技術委員会

○6月15日の岩登り講習会は、参加者31名。

○日山協指導委員総会6月7日～8日

○国体の監督の資格については、平成29年から、スポーツライミング指導者の取得資格者のみ



26年度第1回理事会

に限定される。北信越大会は、平成31年から上記と同じ条件となる。公認指導者の資格を取得するには、受講から登録までに2年間の期間が必要なことから、計画的な同指導者資格を取得してもらうような長期計画を立てなければならないのではないかと考える。

○冬山講習会は、27年2月21日(土)～22日を予定している。

場所は、新発田市の予定。内容は、スタンディングアックスビレイの操作方法等の予定。

ウ 遭難対策委員会

○6月21日～22日、安全登山教室、加茂市で開催、好評であった。

○10月26日、救急法、吉田消防署で開催

○長野県において、「信州 山のグレーディング～登山ルート別 難易度評価」の一覧表を作成したが、新潟県(対象県 新潟、山梨、静岡、長野)においても同様のものを作成したい。山の評価について、平成27年2月ころまで終えて、7月ころまでに完成したいので新潟県山岳協会に協力要請したい。実際に山に登って評価資料を得た上で作成するのではなく、あくまでも既存の資料のみで作成するというのである。(県から依頼があれば、協力することで理事会承認)

○9月26日～28日開催の中高年安全登山指導者講習会の参加希望者は、現在のところなし。

エ 自然保護委員会

○5月27日、朝日連峰保全協議会 1名出席

○5月31日～6月1日、自然保護研修会、矢筈山岳会、講師：加藤明文氏

参加者：座学45名、フィールド研修20名

○6月3日、飯豊保全協議会、2名出席

○8月24日～25日、巻機山景観保全ボランティア現地作業、1名参加

○8月30日、飯豊連峰保全連絡会合同保全作業、梶川尾根、1名参加

○10月18日～19日、第59回自然保護研修会、池の平青少年ビジターセンター、フィールド研修、神奈山

○10月末又は11月初旬、新潟県自然保護係との懇談会及び自然保護委員会

○11月22日～24日、広島市、日山協主催自然保護委員総会、9月5日～25日申込期限、伊藤委員長が申込の取りまとめを行う。

○写真展、3か所予定、1か所は、直江津図書館(決定)、その他、新潟市内と関川村を予定。

オ 競技委員会

配布資料のとおり。

カ ジュニア委員会

8月2日ないし4日、JOCジュニアオリンピック大会、富山県南砺市

キ 海外登山委員会

委員長欠席のためなし。

ク 会報編集委員会

現在314号を印刷中。

7. その他

事務局関係

分担金未納(13団体)の加盟団体は、至急納付していただきたい。

以上

文責：井村事務局長

日本トレイルランニング会議結成集会出席報告

自然保護委員会 伊藤 直

現在、各山岳、山地でトレイルランニングが盛んに行われるようになってきている。そのこと自体は山岳スポーツの一形態として認められるが、登山道の踏み荒らし、転落事故、遭難事故、一般登山者との軋轢等々の問題を引き起こしている。そのような事態を解消するために、トレイルランナーを組織化し、また、トレイルランニングスポーツに対する一定のルールづくりが必要であるとの認識から、その方策が日山協の中で長年にわたり検討されてきた。

今回、上記集会の呼びかけが日山協よりあり、トレランにつき余計なことを言ってきた私に出席して来いと指示があり、出席して来た。

開催期日 平成26年8月2日(土)13:15～

会場 岸記念体育協会 東京都渋谷区神南1-1-1

出席者 呼びかけ人 日本山岳協会競技部トレイルランニング小委員会

トレイルランニング大会運営団体代表 環境省自然環境局国立公園課

各県山岳連盟・協会 計 約30名

会議内容

この結成会議は、日山協競技部トレイルランニング小委員会の主催で開催されたものであり、主催者側から配布された文書の次第に沿って進められた。

日山協競技部トレイルランニング小委員会の撫養千明氏が開会挨拶を行い、司会進行をに務めた。

NPO法人北丹沢山岳センター理事長杉本憲昭氏が発起人代表挨拶を行ない、漸く今次の結成集會に辿り着いたが、ここまで持って来るまでに11年掛かったなどと述べた。

日山協副会長八木原暁明氏が来賓挨拶を行った。

設立基調報告を発起人宮地由文氏が行い、トレラン会議設立経過、設立趣旨の説明を行った。宮地氏は、トレイルランニングは以前国体山岳競技で縦走競技と呼ばれていたものと同じであり、山岳スポーツの一形態、日山協が山岳スポーツの中央競技団体であること、世界的にはトレランをオリンピック競技種目化しようという流れになっており、国体でも同様に動いている、日山協としてはトレランを普及・振興させて行く立場であり、トレラン団体も日山協の中で活動すべき等の趣旨を述べた。

この後、定款及び競技規則等の説明が行われた。

質疑応答

出席者の3分の1ほどがトレラン大会主催団体関係者のようであり、沖縄、山梨、長野等から参加しており、強い関心を持っているようだった。

彼らからは、

- ・トレラン会議の理事に実際に競技をやっている側の人間が一人も入っていないのはおかしい
- ・なるべく規制はしないでほしい
- ・大会運営は、地元、警察、自治体との交渉等厳しいものであることを分かって欲しい
- ・スカイランニングクラブに入っているのだからトレラン会議の意義がいまいち分からない

等の意見、質疑が出た。彼らが自然保護を理由に規制を受けることを強く警戒しているのが印象的であった。

これに対し、呼びかけ人からは今回の理事体制は固定したものではなく、競技者代表も入れた体制とするにやぶさかでないという回答があった。

また、規制するためにこの会議を立ち上げたものではないと述べた。環境省からの出席は2人、このうちの1人は昨年まで佐渡の首席自然保護官の長田氏（現在、国立公園課課長補佐）であったが、

- ・自然保護について趣意書、定款、規則等であり明確に謳われていないように感ぜられる

と述べた。私も同様の感じを受けていた。これに対して回答は、検討します、と述べただけであった。

この後、トレラン愛好者向けの山岳共済制度が説明された。

最後に日本トレラン会議結成趣意書を読み上げ、拍手で結成宣言とした。15:00終了。

その後懇親会に入ったが、私は30分ほどで退出した。9月（恐らく24日）に第1回トレラン会議を行うとのことでした。次回からは、むしろ競技委員会から出席した方が良いと思われます。自然保護委員としては場違いなところに行ってきたという感がしないではないです。以上

一等三角点山行『1』

杉本 敏（長岡ハイキングクラブ）

ツマがどこかの懇親会で「主人は一等三角点を200座ほど制覇した。」と、ホラをふいた。それを新山協ニュース担当の一員が聞きつけ、しつこく原稿を書けと迫ってきた。あなたは飲んだ時もしつこいのかと心の中で叫んだ。

平成24年1月から毎月一等三角点登頂を目指し、27ヶ月が経過していた。もうそろっとこの企画を中止しようと考えていた時期の声掛けであった。未踏の三角点を求めて歩くとだんだん遠方へ出掛けなければならない。遠方なら1回登れば2度と行くことはない、と決めて掛っているから国土地理院の地図を持ち歩かない山行ばかりである。そこにトラブルが発生し、地元の人に聞き回りコミュニケーションが生まれたり、登頂失敗で再挑戦が出てきた。全国975座の一等三角点が存在するが、登山を始めた頃から登った山に三角点が設置され、それを書き留めておいた。平成26年3月末まで166座、通計296座の制覇である。

三角点の数と形状は下記のようになっている。

一等三角点	975座	本点45km	補点25km	柱石90kg	盤石45kg	柱石18cm角
二等三角点	5060座	8~10km		柱石64kg	盤石30kg	柱石15cm角
三等三角点	32326座	3~4km		柱石64kg	盤石30kg	柱石15cm角
四等三角点	70713座	1.5~2km				柱石12cm角

計109074座 平成23年3月31日現在

ナカニシヤ出版から「一等三角点全国ガイド」「統一等三角点全国ガイド」が出版され、三角点の地点を探すのが楽になった。その前は「日本山名総覧」から一等三角点を選別して表にし、山行をしていた。県内岳人に、三角法で距離を出し、「ここいらへんに一等三角点があるはずだ。」と手書きの全国三角地図を見せてもらったことがある。いまはネットで公開されていて、自慢するように登頂写真やルートが解説されている。とことん事前勉強すれば楽なものである。ところが私はネットをしらない。地図は買わない。事前勉強も不十分である。トラブルの連続である。山行時のモットーに「地元の人とたくさん話をする」が自分の中にある。トラブルと地元の人との会話は登頂の喜びより大きいことがある。次に地元の執筆者に偶然話を聞いた後、書いた礼状を載せてもらう。

関口近夫様

こんにちは 始めてお便りします。

今年(2012)11月10日(土)日向畑のたんぼで、豆の収穫をされているところに寄り、関口様に『信州ふるさと120山』のガイドを携えて、長者山の道順を尋ねました。新潟県長岡市の杉本です。その節は親切に時間を掛けて教えていただきありがとうございました。当日は、陣馬平山1257m一等三角点補点から聖山1447m一等三角点本点へ移動するついでにと思い、長者山登山に立ち寄りしました。無事登り、移動中に旧更科郡大岡村芦ノ尻で、四体八面の藁製の神面装飾道祖神のレプリカを見る幸運になりました。会話の折、長者山の三角点設置時期に関口様が関心を寄せておられたので、帰宅したら調べてみようと思いました。なにぶん自分はインターネットをやらない人間ですので、調べることは、友人頼みでついつい時間を費やしてしまいました。取り寄せた資料を同封しますのでご覧ください。問題は「点」の名が「中切山」なので検索の網にひかかりませんでした。長者山での検索は広島県で名前を見る騒ぎになりました。次は地図「日名」1/25000で検索し、地図内から位置名の中切山に辿り着いた次第です。この件で友人も「点の記」に興味をもつきっかけを作ったようです。

ちょっと読みづらいので主たるところを下記に解説します。誤読あればご容赦。

点名 中切山

冠字選点番号 能 第6号 設置区分 地上(保護石0個)

標識番号 標石第——号 柱石長 0.790m

所在地 上水内郡信州新町大字信級字中切4831番

俗称 長者山 地目 山林

所有者 信級財産区

選点 明治40年5月5日 選点者 青木一郎

設置 明治40年7月7日 設置者 青木一郎

観測 平成21年12月10日 観測者 加藤 満

自動車到達地点 日向畑集落より南西約1.8km町立山の家

歩道状況 遊歩道(巾1.5m)

徒歩時間(距離) 約25分(約600m)

三角点周囲の状況 東から南側に松・杉

履歴(1) 平成21年12月10日改測 旧観測 明治40年10月28日

備考 平成21年12月10日改測 GPS測量 三角点改測(国改業295部)

以上のように読み取れました。

なお旧「点の記」には伐採補償料等が載っているようですが「中切山」が該当したかは不明です。片貝煙火協会では花火に近年炭は使っていないとのこと。使ったとしたら明治時代のことではないかな、との話をききました。

早々

賛助会員入会 ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

*10月8日～10月23日現在のご入会、ご入金状況です。

伊藤 直 (工友会) 伊藤明德 (高田ハイキングクラブ)

藤巻道夫 (糸魚川山岳会) 渡邊正之 (長岡ハイキングクラブ)

本間一人 (亀田山岳会) 山口 誠 (柏崎山岳会)

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会 会長 阿部信一 ・理事長 遠藤俊一 ・総務委員長 宮崎幸司

新潟県山岳協会加盟山岳団体・賛助会員 各位

新潟県山岳協会 会長 阿部 信一・理事長 遠藤 俊一・総務委員長 宮崎 幸司

平成26年度賛助会員継続および募集のお願い

謹啓、春暖の候皆さまにおかれては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から本会の事業運営に格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本会におきましては、加盟団体からの分担金で、下記の各種事業を実施しております。しかしながら、その実施にあたっては、十分な財源が確保されている状況ではございません。そのため場合によっては、担当各位のボランティアに依存しているのが実情です。つきましては、今年度も本会の目的や事業に賛同いただける方々を、個人・団体を問わず、賛助会員として募集いたします。何卒この趣旨にご賛同の上、「ご継続」及び「ご入会」いただきたくお願い申し上げます。例年多くの個人の方々から、ご賛同いただいておりますが、加盟山岳団体様からのご賛同についても、ご高配のほどお願い申し上げます。なお、ご賛同、ご入会いただける場合は、加盟団体、賛助会員へ送付済の「払込取扱票」にて下記の賛助会費をご納入いただきますようお願い申し上げます。

1 新潟県山岳協会事業

- (1) 国民体育大会山岳部門に関する事項。
- (2) 新潟県体育協会登山部門に関する事項。
- (3) 日本山岳協会に関する事項。
- (4) 登山施設の改善促進及び技術指導に関する事項。
- (5) 遭難対策に関する事項。
- (6) 自然保護活動に関する事項。
- (7) 加盟団体が主管する事業に対する相互協力に関する事項。
- (8) その他本会の目的達成に必要な事項。

2 賛助会費 年額 10,000円

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134代
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>